

FM転換等に係るFM放送用周波数の拡充に係る 需要調査の結果

令和6年12月

1. 調査目的

「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」における議論を踏まえ、FM放送用周波数の拡充の必要性及び拡充する場合の必要帯域の検討に資するため、AM放送事業者によるFM転換及びFM補完中継局の設置、並びにFM事業者による中継局の増設に係る要望について調査を実施。

2. 調査概要

(1) 調査対象

- AM放送及びFM放送（コミュニティ放送及び臨時目的の放送を除く）を行う全基幹放送事業者
98社：日本放送協会及び97民間放送事業者
（民間放送事業者の内訳：AM放送事業者：47社、FM放送事業者：50社）

(2) 調査内容

- AM事業者：整備目的別（災害対策、難聴対策、放送確保対策）の中継局の整備の見込み
- FM事業者：中継局の増設の見込み
- 想定する放送区域（行政区域）、中継局の規模（100W未満、100W超～1kW未満、1kW超）

(3) 調査期間

令和6年6月5日～7月4日

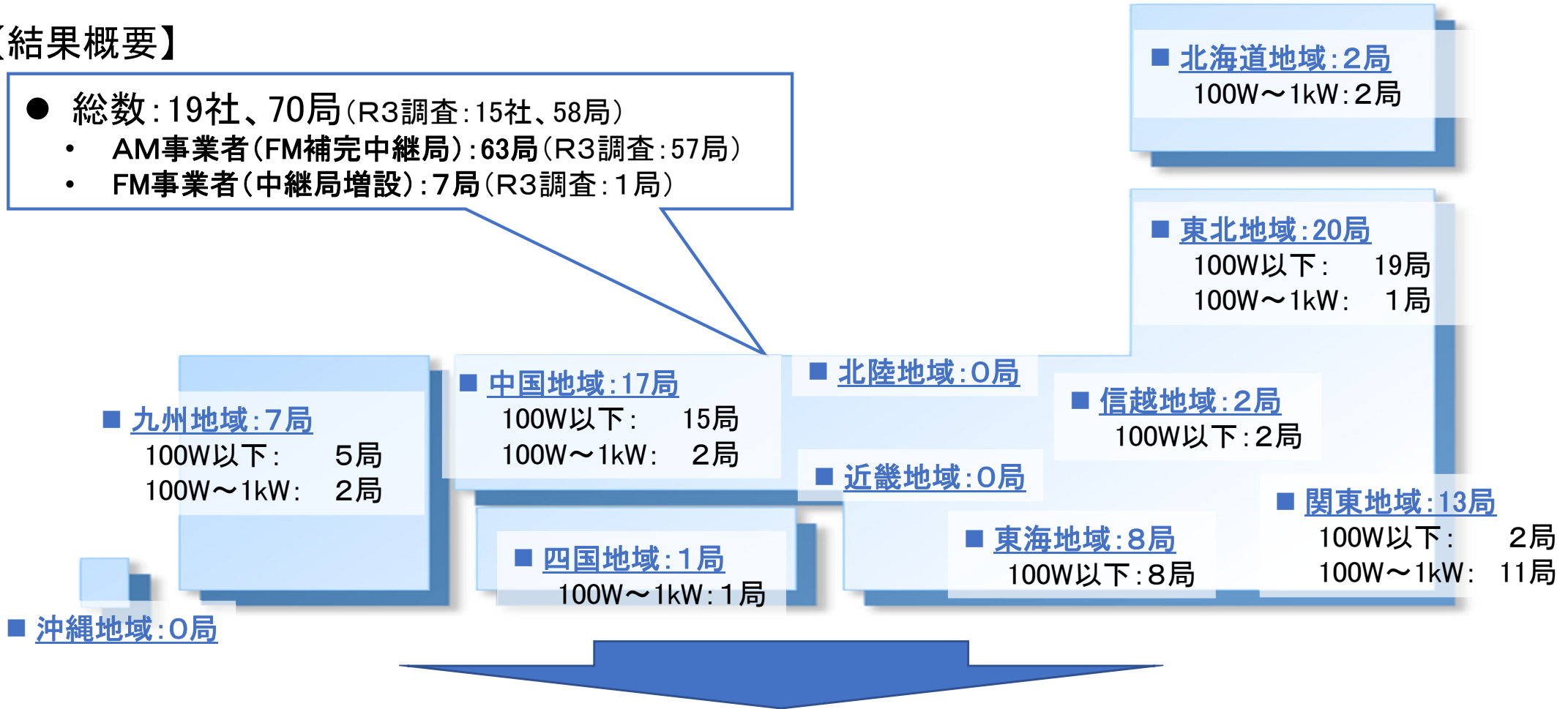
(4) 回答状況

98社／98社（100%）

- ◆ 令和3年度時の調査よりも、需要は増加(12局)
- ◆ 現状のFM放送用周波数帯域(76~95MHz)では賅いきれないと想定される需要が存在

【結果概要】

- 総数: 19社、70局 (R3調査: 15社、58局)
 - ・ AM事業者(FM補完中継局): 63局 (R3調査: 57局)
 - ・ FM事業者(中継局増設): 7局 (R3調査: 1局)



令和3年度時と同様の検討を実施

帯域幅が4MHz程度あれば、需要に対応できる見込み